

※取り付ける前に必ず本製品の動作確認およびスマートフォン/携帯電話等との接続動作確認をしてください。取扱方法の②・③・⑤を参照し、アクセサリーソケットにカーブラグ部を差し込んでください。通電モニターランプ(図6)が点灯します。通電確認後、接続機器の使用方法を参照してスマートフォン/携帯電話等の接続動作確認をしてから、エンジンを切り、取り付けを開始してください。

※本製品および接続する電装品の取り付け・取りはずし・操作は、必ず安全な場所に停車して行ってください。

※取付作業は常温下で行ってください。炎天下や極端な低温時には行なわないでください。

車両への取付・取りはずし方法

取付方法

※必ず安全な場所に停車して行ってください。

- 1 本製品をセンターコンソールボックスにあてがい、取付場所を確認します。(図1)

注意 コードが本体とセンターコンソールボックスの間に挟まないように、取付場所を確認してください。

- 2 車のエンジンを切った状態(ACCもOFF)で、取付面の汚れ・ゴミ・油・保護剤等を市販のクリーナー等できれいに拭き取り(脱脂作業)、アクセサリーソケット内をよく掃除します。

注意 車のアクセサリーソケット内が汚れていると、接触不良の原因となり、発熱・発火等のおそれがありますので、よく掃除してからカーブラグ部を差し込んでください。

- 3 カーブラグ部のツメを図2のように上に、アクセサリーソケットの奥までしっかりと差し込みます。(カーブラグ部の上にアクセサリーソケットのフタがかかるようになります。)

注意 カーブラグ部の向きを間違えると本製品を取り付けることができません。

注意 確実に差し込まれていないと接触不良やカーブラグ部が溶解するおそれがあります。

- 4 本製品裏側にある両面テープ剥離紙(5箇所)をはがし(図3)、一度でしっかりと貼り付けます。コードをセンターコンソールボックスと本体の間に挟まないよう注意してください。(図4)

注意 コードを無理に引っぱったり、挟まないでください。断線の原因となります。

注意 取付面の汚れ・ゴミ・油・保護剤等をきれいに拭き取ってから貼り付けてください。汚れた面に貼り付けると脱落の原因となります。

注意 両面テープの粘着面に手を触れたり、ホコリ等を付けたりしないよう注意してください。粘着力が弱くなり、脱落の原因となります。

注意 両面テープの貼り直しはやめください。脱落の原因となります。

注意 両面テープと取付面の間にこき間があると脱落の原因となります。

注意 両面テープの粘着力は貼り付け後、約24時間で安定します。それまでは本製品の使用を控え、強い力を加えないでください。

注意 取付部分が多少変色したり、取付跡が残ったりする場合があります。

- 5 車のエンジンをかけ、通電モニターランプ(図6)が点灯していることを確認します。

取りはずし方法

- 1 本製品を取りはずす際は、内装を損なわないよう十分注意してゆっくりと取りはずしてください。粘着剤が残ってしまった場合は、市販のノリはがき剤を使用してください。

- 2 カーブラグ部は落下防止のため、固めの設計になっています。カーブラグ部をアクセサリーソケットから抜く際は、コードを持たずにカーブラグ部を持って、指でアクセサリーソケットを押さえながら徐々に抜いてください。(図4)

*カーブラグ部が抜きにくい場合はカーブラグ部のツメ(図2)に板状のものをあてがい、少し引き出してもから徐々に抜いてください。その際、内装や本製品に傷付けないように注意してください。

注意 コードを持ってカーブラグ部を抜かないでください。

注意 取りはずす際、カーブラグ部が熱くなっている場合がありますので、十分注意して抜いてください。

ソケット部について

ソケット部の使用方法

- ・ソケット部用フタを開け(図5)、電装品等のカーブラグを差し込んで使用します。(図6)

注意 電装品等のカーブラグを差し込む前に、車のエンジンを切った状態(ACCもOFF)で、ソケット部内側をよく掃除してください。汚れていると、発熱・発火等のおそれがあり、大変危険です。

注意 ソケット部に電装品等を接続している時に本製品のソケット部用通電モニターランプが消えた場合は、直ちにソケット部から電装品等のカーブラグを抜いてください。電装品等のカーブラグを抜いた後にソケット部用通電モニターランプが再度点灯した時は、本製品のヒューズ切れや故障ではなく、電装品等のショートや障害等が発生している場合があります。

注意 発進・急加速・急ブレーキ・急ハンドル時や、急カーブ・悪路・段差の激しい路上の走行等により、カーブラグソケット部がゆるみ、確実な通電が確保できなくなる場合があります。使用前にカーブラグがソケット部の奥まで差し込まれているか確認してください。

注意 ソケット部用フタを無理に引っぱると破損の原因となりますので注意してください。

注意 ソケット部を使用しない時は、ホコリやゴミが入るのを防ぐため、ソケット部用フタを閉めてください。

電装品等の取りはずし方法

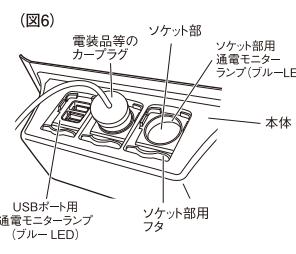
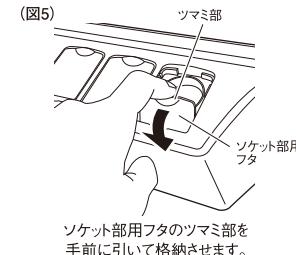
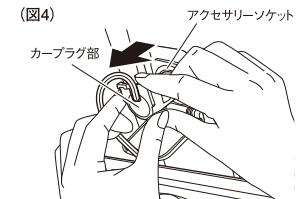
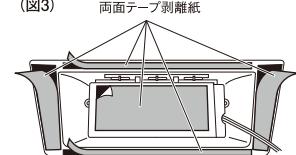
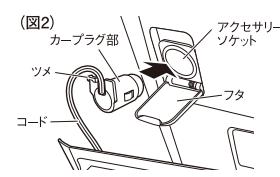
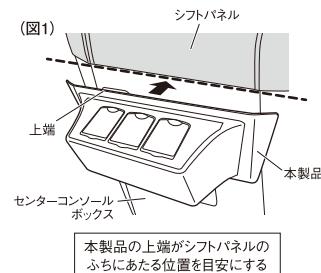
- ・本体を押さえながら電装品等のカーブラグをしっかりと持ち、徐々に抜いてください。(図6)

注意 本体を押さえずに電装品等のカーブラグのみを抜くと、本製品のはがれや破損の原因となります。

注意 取りはずす際、カーブラグが熱くなっている場合がありますので、十分注意して抜いてください。

USB充電について

- ・USBポートはAP側、AN側の2口があります。それぞれ用途に合わせて選んでください。



接続機器の使用方法

- 1 USBポート用フタを開けます。(図7)

- 2 安全に使用するために、接続機器の電源を必ずOFFにし、接続機器のUSBコネクタをUSBポートへ接続します。(図7)

*USBコネクタには差し込む向きがあります。無理矢理差し込み、コネクタの向きを合わせて差し込んでください。

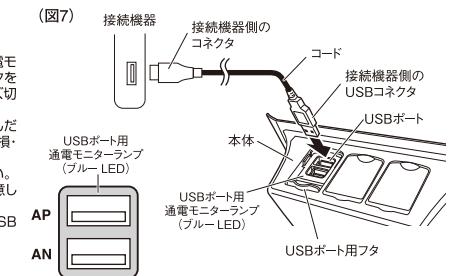
注意 USBポート用フタを開いてください。接続機器のショート・故障等の発生による内蔵ヒューズ切れや、最大 watt 電流を超える電流を超過している可能性があります。

USBコネクタは奥までしっかりと差し込んでください。無理に差し込んだり、引き抜いたり、傾けたり等の差し込み不良があるとメモリーテーブル・バッテリー・バグ等の故障の原因となります。

接続機器を接続したままエンジンをかけたり、切ったりしないでください。

USBポート用フタを無理に引っぱると脱落の原因となります。

USBポートを使用しない時は、ホコリやゴミが入るのを防ぐため、USBポート用フタを閉めてください。



接続機器の取りはずし方法

- ・安全に取りはずすために、接続機器の電源を必ずOFFにし、接続機器のUSBコネクタをUSBポートから抜いてください。(図7)

*接続機器によっては、充電中に電源をOFFにできない機種があります。

*USBポートは接触不良防止のため、固めの設計になっています。USBコネクタを抜く際は、コードを持たずにUSBコネクタを持ち、本体を押さえながらUSBコネクタをまっすぐ抜いてください。(図7)

注意 本体を押さえずに接続機器のUSBコネクタのみを抜くと、本製品・接続機器破損の原因となります。

注意 取りはずす際、USBコネクタが熱くなっている場合がありますので、十分注意して抜いてください。

USBで給電・充電する際の注意

●連続使用時間が長い場合や充電条件により、本製品内蔵の保護回路が作動し、充電が止まつたり(USBポート用通電モニターランプが消える)、断続的な動作になります。USBポート用通電モニターランプが点滅する場合がありますが、回路を保護するためであり故障ではありません。そのような場合は、一度接続機器を取りはずし、時間をあけて使用してください。●一部の機種では電池残量がゼロの状態では充電ができない場合があります。純正の充電器(家庭用AC)で約10分程度充電してから使用してください。●充電時間および充電後の使用時間は、機種・電池パックの種類・状態・使用環境によって異なります。●充電中に接続機器を使用しますと充電時間長くなります。●機種によっては充電しても接続機器側の充電レベルが表示されない、変化がない、充電にならない場合があります。●本製品・接続機器・電池パック寿命の低下につながるおそれがあります。また、USBポートの抜き差しによる接続機器の破損等の原因になります。●接続機器の充電完了表示に関しては、接続機器に付属されている取扱説明書を確認してください。●接続機器の電池パックが古くなっていたり、故障している場合は充電できません。新しい電池パックへの交換をおすすめします。●30分以下の短時間の充電では電池表示レベルが上がりません。●本製品・接続機器・電池パックが高熱になった場合や発煙・ショートがあつた場合には直ちに使用をおやめください。

警告 ご使用前に必ずお読みください。

●運転操作やエアバッグ等の作動に支障のないように使用してください。●異臭・発熱・発煙・発火等の症状がみられた場合は、直ちに本製品を取りはずし、使用をおやめください。●タバコの煙、火気、火災に近づかないでください。火災の原因となります。●走行中、運転者は本製品の操作および電装品・接続機器等の脱着・操作はしないでください。事故の原因となります。

注意 ご使用前に必ずお読みください。

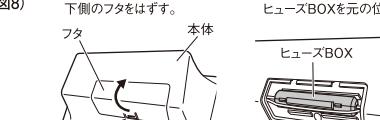
●用途以外の目的で使用しないでください。●本製品に強い衝撃を与えると、重いものをのせないでください。●確実な通電を確保するために、必ずカーブラグ部を車のアクセサリーソケットに奥まで差し込んでください。使用的する電装品・接続機器等のカーブラグソケット部を押さえながら抜いてください。●車のバッテリー保護のために必ずエンジンをかけた状態で使用してください。●本製品の脱着、および本製品のソケット・内部側の掃除の際は、必ずアクセサリーソケットに通電していない状態で行ってください。●本製品のUSBポートやソケット部に電装品・接続機器等のカーブラグソケット以外の物(指・金属片等)を差し込まないでください。ショートや感電のおそれがあり大変危険です。●本製品は使用により、本体・USBポート・ソケット部に傷が付く場合があります。●直射日光が当たる場所や、車内温度が0℃以下~+40℃以上の時は使用しないでください。結露や熱による誤動作や故障・本体の溶解の原因となるおそれがあります。●通電モニターランプの光を直視したり、運転者が車外に光を向けてたりしないでください。事故の原因となります。●カーブラグソケットやカーブラグ部が破損する場合があります。●コードに負荷をかける。根元をすり減らす。束ねる。重いものをのせる。強く押す等の行為をしてください。●運転者や車外に光を向けてたりしないでください。事故の原因となります。●心臓ペースメーカーや医療機器等を使用している近所では、本製品を使用する際に心臓ペースメーカー等の機能が影響を及ぼすことがあります。●本製品のヒューズ・分岐・改造・加工等は絶対にやめください。破損・故障・感電・ショートの原因となります。●ソケット側のヒューズ交換時、必ず指定のヒューズを使用してください。指定外のヒューズを使用すると、発熱・発煙・発火等の原因となります。●ヒューズが切れた場合は、ヒューズボックスを交換してください。●ヒューズボックスが壊れた場合は、ヒューズを交換してください。●ヒューズが切れた場合は、新しいヒューズをお買い求めください。●シリコン等の振動が多い場所ではホコリ・湿気の多い場所では使用しないでください。●本製品取付時や使用時に生じた事故や、車両および接続機器等の破損・故障・損害について、当社は一切の責任を負いかねます。

【ヒューズの交換方法】

(図8)

①部品を手前方に引いて本体下側のフタをはずす。

②ヒューズBOXを開け、中のヒューズを交換し、ヒューズBOXを元の位置に戻す。



③フタを閉める際、先に上の2箇所のツメを差し込み、部品を押しながら下のツメを差し込む。

